

このころの南満州が、朝鮮・台湾のような日本の植民地であったかのように誤解するおそれのある表現である。

アジアの多くの民族は、日本がヨーロッパの強国を破ったことに力を得て、植民地支配からの解放をめざすようになった。しかし、日本は、南満州鉄道株式会社を経営し、沿線の炭坑や鉱山を開発するなど、南満州に権益をもち、(→174, 176)列強と同様に植民地を支配する国となった。

その後、日本は、南満州鉄道株式会社を経営し、沿線の炭鉱や鉱山を開発するなど、南満州に権益をもった。当時(→172, 174)の大国ロシアに対する勝利は、日本の国力を外国に認めさせることになった。アジアの多くの民族は、日本の勝利に力を得て、植民地支配からの解放をめざす動きを高めた。